

No.	団体名	活動対象地域	事業名	事業概要	選定理由	助成額(円)
1	特定非営利活動法人 大雪山自然学校	北海道/旭川市・東川町	仕事が減った人と 社会課題のマッチング～若者・子育て家庭・観光従事者を支える仕組	<p>当事業では、コロナ禍において社会的に孤立しがちな子育て家庭や非正規雇用者が、①子供が安心して過ごせる居場所を確保するとともに、②非正規雇用者をそのスタッフとしてマッチングを行う。特にインフォーマルな子供の居場所づくりに力を注ぎ、子供も保護者もスタッフも安心して活動できるよう研修を充実させる。</p> <p>これにより、子育て家庭にとっては多様な交流の機会が増え、非正規雇用者は子供や地域とつながりのある活動で収入を得ることが期待される。なお、非正規雇用者の仕事は、保育現場だけではなく、親子が訪問する森や遊歩道整備等、観光地における環境整備も想定しており、個人の特性に合った現場と研修機会を提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業趣旨に合致する。</li> <li>・事業計画が具体的かつ実行可能性が高く継続性もある。</li> <li>・財務が安定し、団体としての信頼性が高い</li> <li>・観光ガイドのスキルが、コロナ禍においては活かさない可能性があるの で、波及効果、継続性について懸念がある。観光業のスキルだけでなく、他の事業でも活かせるようなスキルを身に付けられるよう検討していただきたい。</li> </ul>	5,000,000
2	特定非営利活動法人 北海道エコビレッジ 推進プロジェクト	北海道/余市町・仁木町	農業の担い手育成 と持続可能な地域づくり	<p>①余市・仁木町内における農業人材不足を解消するために、都市部からの援農やパート労働者をマッチングする。就業に当たっては双方の要望を調整したり、地域住民との交流や悩み相談の他、地方の課題や持続可能な地域づくりを学ぶ交流研修の機会や移住のサポートを提供する。</p> <p>②短期・中期の援農ボランティアやパート労働者、農業研修生らの良好な住環境を確保するために、既存のゲストハウスや学生下宿、空き家などの住宅情報を調査・整理する。</p> <p>③農山村のインフラ設備のない環境でもオフグリッドで居住性の高いタイニーハウス（狭小住宅）を建設し、農業だけでなくツーリズム等への展開を検討する。"</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源を積極的に活用し、広げていく点が評価できる。</li> <li>・農業支援だけでなく、新たな担い手を育成する視点がもう少し見えるとよい。</li> <li>・農業の繁忙期が終わりかけていると考えられるため、直近の計画をより具体化していただきたい。</li> </ul>	5,000,000

3	特定非営利活動法人 いぶり自然学校	北海道/胆振 振興局・苫 小牧市	北海道森のようち えんリスタート事 業～親子の心の安 定と、持続的運営 を目指して	もう一度幼児と保護者が屋外で遊び、森のようちえんの意義を共有し、コロナ禍によって失われつつある幼児と保護者の心身の健康を取り戻すための場と機会を提供する。具体的には、1. 全道で森のようちえんを実施している団体に協力してもらい、それぞれの団体にあったの森のようちえんに参加できる場と機会を提供してもらおう。2. そこで、参加しなくなりつつある幼児や保護者にもう一度森のようちえんの意義を確認してもらい、今後の参加や参画を促す。3. 指導者や運営者、ボランティアとコロナ禍においても活動を実施するための方法を考え、その体制を確立する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然体験の活動は支援が手薄だがニーズが高い分野であり、本助成の趣旨に合致している。</li> <li>・「もりのようちえん」を必要としている・求めている人達を新たに獲得するアプローチを検討していただきたい。</li> <li>・継続性が不透明。助成終了後に本事業の成果を活かすような事業計画を検討していただきたい。</li> </ul>	5,000,000
4	特定非営利活動法人 みなと計画	北海道/石狩 振興局・江 別市	若年アーティスト の創作活動サポ ート事業	基盤(創作環境・精神・生活)が弱く、コロナの影響で孤立し、創作意欲の減退が起きている若年アーティストが今後も創作活動を続けられるようサポートをする。 >活動内容 ①孤立する若年アーティストの相談窓口を設け、ニーズに応じたサポートを行う ②若年アーティストの現状を把握する意見交換の場を設け、ニーズを把握する ③福祉事業者と連携したアートに関わる仕事を創出する ④若年アーティストと地域の店舗等をつなぎ、自身の作品を通じて収入につなげられる仕組みを作る >社会課題への貢献 自身の創作活動のみではなく、今回のような創作支援活動の担い手としてや、地域課題の解決にアートを取り入れる活動を行えるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術分野は制度の狭間であり、ターゲット設定が本助成事業の趣旨に合致している。</li> <li>・継続的な活動のため、本助成事業期間に担い手育成を行うなど、運営/事務局体制の強化を検討していただきたい。</li> </ul>	5,000,000

5	一般社団法人北海道ブックシェアリング	北海道/石狩振興局・江別市	親子の居場所・学び場としての絵本館の運営	<p>本会が運営する「北海道学校図書館づくりサポートセンター」（江別市、蔵書約3000冊）を、月に4回（毎月第1、第3土日）、「親子のための絵本館」として無料開放し、居場所として利用してもらうほか、それぞれの分野の専門家による絵本セミナー、手づくりワークショップ、絵本セラピー、学びの教室などの無料講座を開き、くつろぎと育みと学びの機会を創出する。利用は予約制で、ソーシャルディスタンスの確保と、プライバシーの観点から、一日最大12人までとする。また、社会福祉や大学連携、若者の交流、児童クラブなどの機関を持つ大麻銀座商店街というロケーションと連携を活かし、暮らしのバックアップにつなげていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本助成の趣旨に合致する。</li> <li>・すでに持っているリソースを十分に活用した事業であることが評価できる。</li> <li>・密になることが懸念される活動内容なので、十分にリスクマネジメントを行っていた</li> <li>・新たな市民の参画、担い手を増やしていくという視点を事業計画に盛り込み、継続的な活動となることを期待したい。</li> </ul>	3,400,000
6	株式会社 P L O W	北海道/石狩振興局・札幌市・江別市	ゲストハウスを活用した生活困窮者支援事業～交流機能を用いた社会的孤立へのアプローチ	<p>本事業は、感染症災害によるホームレスの増加に対応するための居住確保を進めると同時に、ゲストハウスの交流機能を活かして、社会的孤立の問題に対する新しいアプローチを実施・普及する。さらには、ホームレス状態の生活困窮者が多く存在する札幌市とは異なり、一棟借上等による大型シェルター・支援付き住宅の整備が難しい地域において、ゲストハウスを活用したホームレス状態にある生活困窮者支援のノウハウ移転を試みる。今事業期間においては、札幌市のとなりに位置する江別市で、ゲストハウス「ゲニウス・ロキが旅をした」を運営する合同会社ロキに対し技術指導をすることで、当団体の取り組みの横展開を図ろうとするものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困窮者支援は緊急度の高い事業であり、本事業趣旨と合致する。</li> <li>・新たな団体と連携し、ノウハウを広げていくということが評価できる。</li> <li>・複雑性が高い事業なので、困窮者支援の専門性のある連携団体に運営面でも助言を得ながら進めていただきたい。</li> </ul>	5,000,000

7	特定非営利活動くるくるネット	北海道/胆振・室蘭市	室蘭初。子どもと大人の居場所！常設型	<p>1. 室蘭市に談話室2か所（子ども用・大人用）と相談室を備えた常設型居場所を市内で初めて設置する。午後2時～8時の6時間、学習サポーター2名・生活支援サポーター1名・相談員1名を常駐。定員は20名。（大人10名・子ども10名）平日週4回以上。土曜日2回以上オープン。学習サポーターは新型コロナの影響で収入の減った、大学生・専門学生を積極的に採用。</p> <p>スペースは新型コロナウイルス対策として1人あたり3㎡を確保。子どもは学習の補修・PC学習・レクリエーション等。大人は、PC訓練・コミュニケーション訓練等</p> <p>2. 活動の小冊子の配布。500部作製。</p> <p>3. 保護者・求職者向けにICTを使用した相談窓口を設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親子でなかなか行く場所がないという課題に対する事業として期待できる。</li> <li>・実施体制と継続性に懸念がある。助成終了後に本事業の成果を活かすような事業計画を検討していただきたい。</li> <li>・子どもとおとな、いろんな人が出入りするところになるので、しっかりとリスクマネジメントを行っていただきたい。</li> </ul>	3,180,000
8	一般社団法人あったらいいね	北海道/十勝振興局	生活困窮総合支援シェルター事業～生活支援シェルター	<p>様々な要因により生活困窮に陥った個人・家族に緊急避難先を提供すると共に、生活困窮から脱するための支援を総合的に提供する。具体的には、一時的に身を寄せることが出来る宿泊施設（シェルター）を運営し、生活困窮者達に安心安全な生活環境を提供する。安心安全な生活環境の中で、まずは心の余裕を回復させる。その後、各種分野の専門家による支援チームと相談することによって、それぞれの課題を整理して、解決に向けた具体的な施策を練り、生活困窮からの脱却を図る。シェルター退所後も生活が軌道に乗るまでの間は定期的なミーティングを行い、持続可能な生活のフォローを行っていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の趣旨に合致する。</li> <li>・助成金で活動展開・連携拡大が期待できる。</li> <li>・設立間もないため、財務基盤、ガバナンスに留意して進めていただきたい。</li> </ul>	5,000,000

9	特定非営利活動法人 こどもサポートふらの	北海道/上川 振興局・中 富良野町・ 上富良野町	”孤育て”防止対策 地域資源有効活用 事業～孤育て防ぐ 「おうちパーク」 「ミニ交流会」	居場所や相談先がなく、孤育て状態となっている親子のストレス緩和のために、孤立を防ぎ、繋がれる「場」を地域の人材と協力しあい、民間として継続提供を行う。具体的には、 ①当法人のファミサポアドバイザー等個人宅の庭を開放（毎回1-2組ずつ親子や不登校の子どもに場所を開放し、母親の話し相手や、子どもの遊び相手になって、親と子ども双方にとってのストレス解消をはかる） ②公的な子育て支援センターがコロナ対策で利用制限等がかかり機能してないため、代替案として「ミニ交流会」を定期的で開催し、参加親子同士の繋がりや関係作りをサポートしたり、講師を招き子育て関連の勉強会や講習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存事業（ファミサポ事業）でニーズを把握しており、制度の隙間に取り組む意義ある活動である。</li> <li>・助成終了後も無償でのサービス提供の維持をご検討いただきたい。</li> <li>・人件費などを中心に予算の見直しをお願いしたい。</li> </ul>	4,600,000
10	特定非営利活動法人 なごみ	北海道/石狩 振興局・札 幌市	さっぽろ不登校サ ポート～～訪問型 支援からの一歩～	学校へ行けるようになるためのアクションプランや、アプローチ(訪問相談、メール・電話相談・情報提供)、学校へ行けなくても引きこもりでも「居てくれるだけでいい」環境の支援、勉強を学ぶことができる仕組みを確立する。学校へ行けない子どもたちの初期は、うつ傾向になっていて、家に閉じこもってしまっている。外への居場所へ参加させることは、現実的ではない。そこで訪問型支援を中心に子ども、親のサポートをしていくプラットフォーム的機関である。段階を踏んで、訪問相談、訪問支援、移動支援、学習支援等を導入していける仕組みを持つ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問型のサポートである点が本事業の趣旨に合致する。他団体との連携も期待。</li> <li>・財務基盤や事務局運営体制に不明な点があり、対応をお願いしたい。</li> </ul>	4,476,000
11	特定非営利活動法人 ねっこぼっこのいえ	北海道/石狩 振興局・札 幌市	相談支援事業～地 域の居場所での オーダーメイドの 相談事業	日々の活動を通じて寄せられる様々な相談事例を要支援者とともに整理し、公的・民間の様々な支援体制に繋ぐことで問題解決を図る。様々な事情で要支援者だけではその手続きなどを行うことが困難である場合に支援員が要支援者につき添って（同行して）役所及び関係各所に出向き、諸々の手続きを行う支援をする。また要支援者本人が諸々の手続きを行う際に、その人にあった柔軟で個別の支援を実施する。また要支援者にかかわる様々な関係機関との連携を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談できる場所の創出／同行支援は重要な取り組み。活動実績もある。</li> <li>・波及効果・継続性に懸念。当時のエンパワーメントの視点もほしい</li> <li>・SNSの活用など新しい対象者を増やすことに資金を活用してはどうか。</li> </ul>	3,651,000